

(14) 共生プラザ

1) 施設概要

① 施設一覧

荒海共生プラザは、ロビーに設置した航空機騒音表示装置で情報を提供するとともに、認知動作型トレーニングマシン等を設置した健康ルーム等を保有する、コミュニティ施設です。

設置目的：市民が航空機から発生する騒音の実態を把握することができる機会を提供するとともに、地域と空港との共生を推進する

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造	運営	備考
1 荒海共生プラザ	荒海716	124.70	平成21	RC造	指定管理	空港対策課

② 運営時間・運営日数

平成23年度の運営時間・運営日数は以下のとおりです。

図表 運営時間及び運営日数

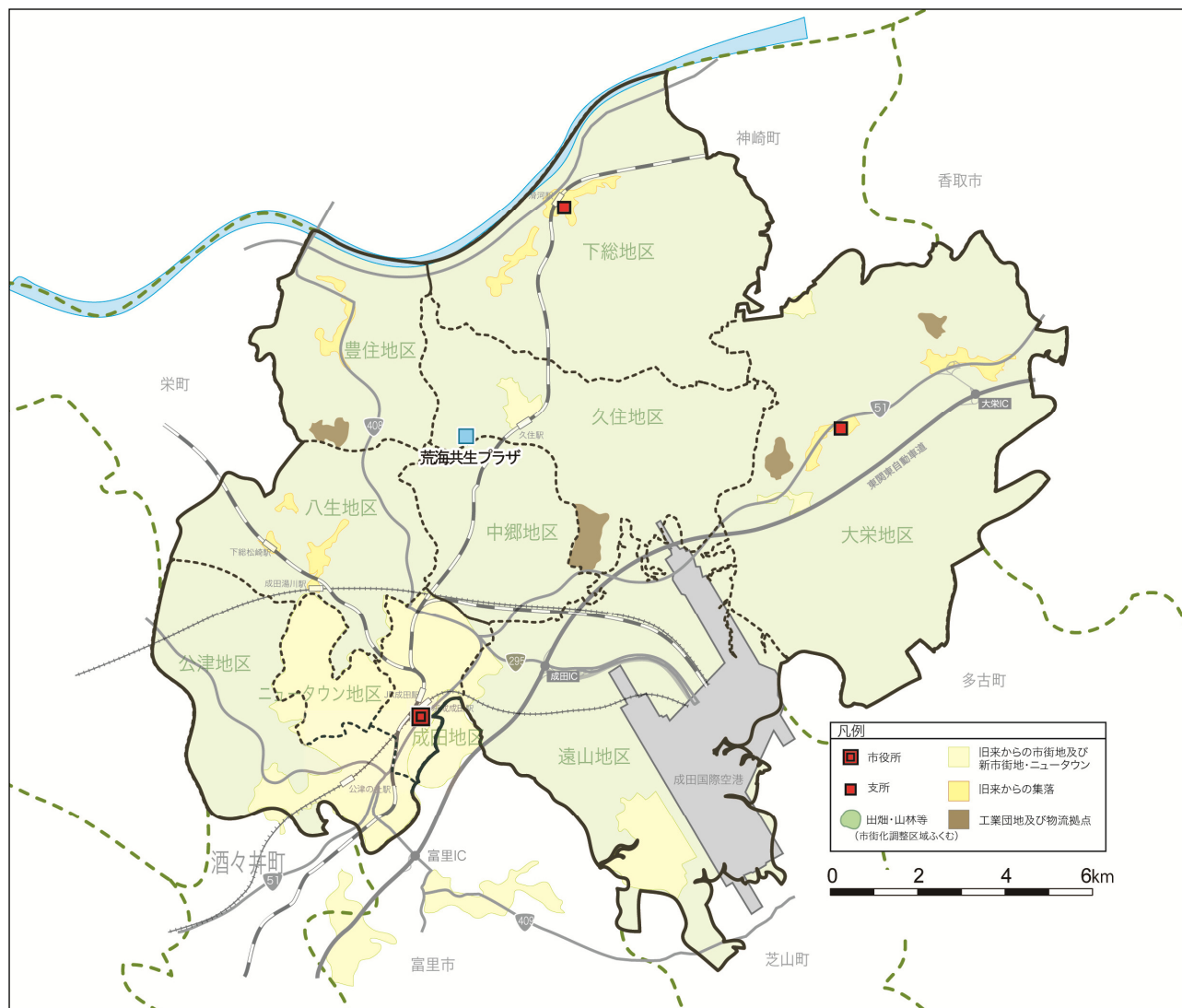
名称	開館時間	開館日数	休館日	使用資格
荒海共生プラザ	午前10時～午後6時	300	月曜日・祝日 の翌日 年末年始12/29～1/5	本市に住所を有し、又は勤務し、もしくは通学する者

③ 予約方法・使用料金等

健康ルームを使用する際には、指定管理者へあらかじめ申請書を提出する必要があります。本市に住所を有し、又は勤務し、若しくは通学する者（ただし、指定管理者が特に必要と認める場合は、この限りではない）ならだれでも無料で利用できますが、現状は、近隣市民を中心とした利用となっています。

④ 配置状況

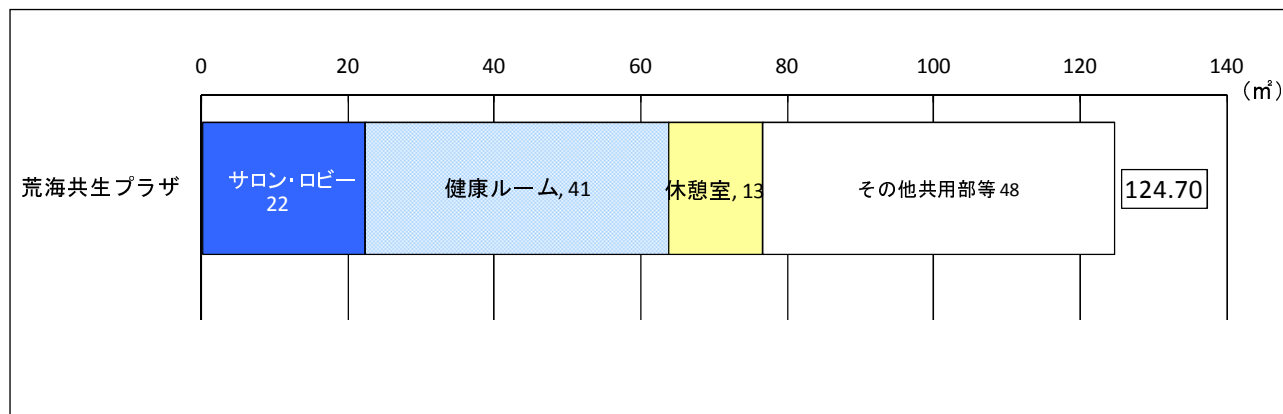
図表 共生プラザ 位置図



⑤ スペース構成

荒海共生プラザの主な保有スペースは、サロン・ロビーと健康ルーム（体育室）と休憩室を保有しており、延床面積は、124.7 m²です。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 共生プラザの建物総合評価結果

平成23年度の、荒海共生プラザの建物状況について評価を行いました。

年度	平成23	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理							
		建築年	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後または直近の大規模改修年数	エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)		床面積当たり(円/㎡)			
No.	施設名															光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	
1	荒海共生プラザ	平成21	125	—	2	—	2	—	○	○	○	○	○	×	×	×	385	2,552	103	3,084	20,419	828

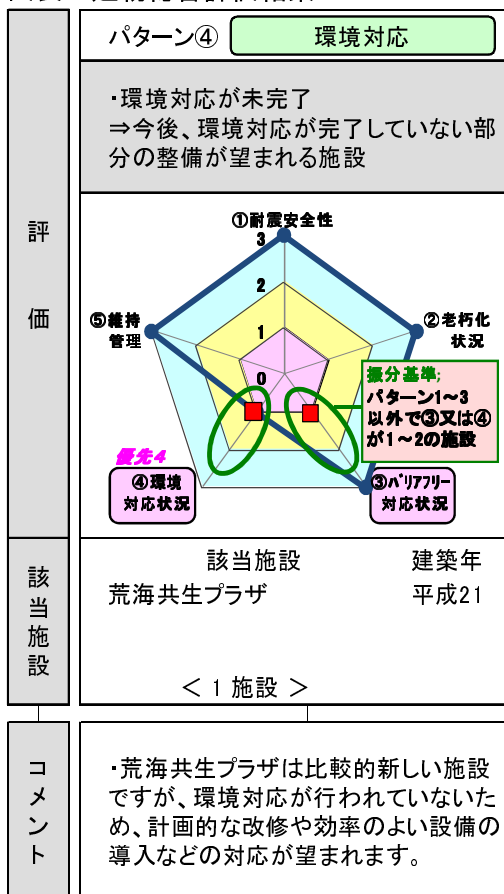
※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等

※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施=×
	不要⇒—

荒海共生プラザは、平成21年に建設された比較的新しい施設ですが、環境対応の一部が対応していないため、計画的な改修等での対応が望めます。(パターン④)

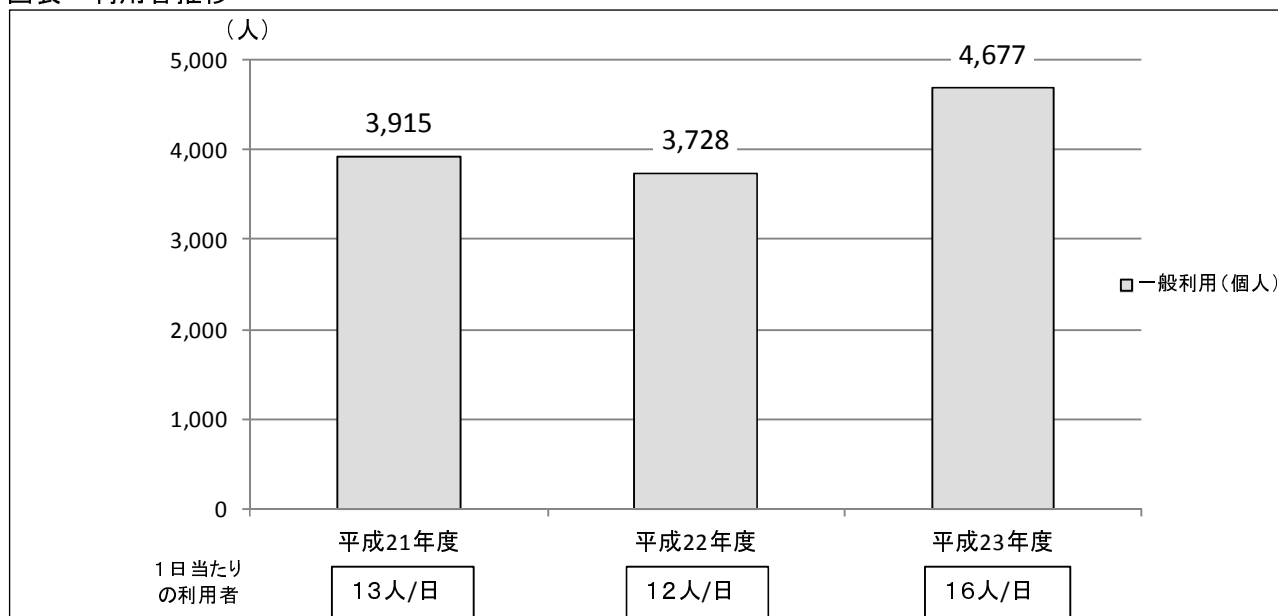
図表 建物総合評価結果



② 利用状況

利用者数の推移は、平成21年度 3,915人から平成23年度 4,677人となっています。
1日当たりの利用者数は、直近3年間で約12人/日から16人/日となっています。

図表 利用者推移



③ 運営状況

荒海共生プラザは、指定管理者制度を導入して運営しています。

図表 運営人員 (平成23年度) (人)

		荒海共生プラザ
施設利用に関する受付・案内	指定管理 職員	1.5
施設維持管理等		0.5
館内サービス		1.0
合計	計	3.0

運営体制をみると、荒海共生プラザは、指定管理者職員3人体制で施設の案内、維持管理、館内サービス等の運営にあたっています。夜間の運営は行っていません。

図表 運営体制 (平成23年度)

	10:00	18:00
荒海共生プラザ 運営体制 約3人	指定管理職員 3人	

④ コスト状況

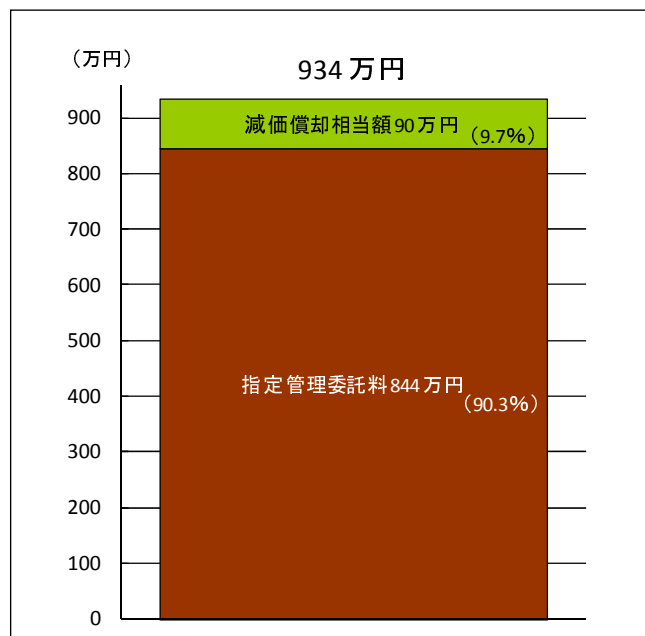
荒海共生プラザの年間トータルコストは、934万円です。

年間トータルコストのうち、指定管理委託料が844万円（約90%）、減価償却相当額は90万円（約10%）、です。

図表 行政コスト計算書（平成23年度）（円）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		荒海共生プラザ
施設にかかるコスト		0
事業運営にかかるコスト		0
指定管理委託料		8,436,000
現金収支を伴うコスト 計		8,436,000
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	901,960
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		9,337,960
収支差額（ネットコスト）		9,337,960

図表 トータルコスト（平成23年度）



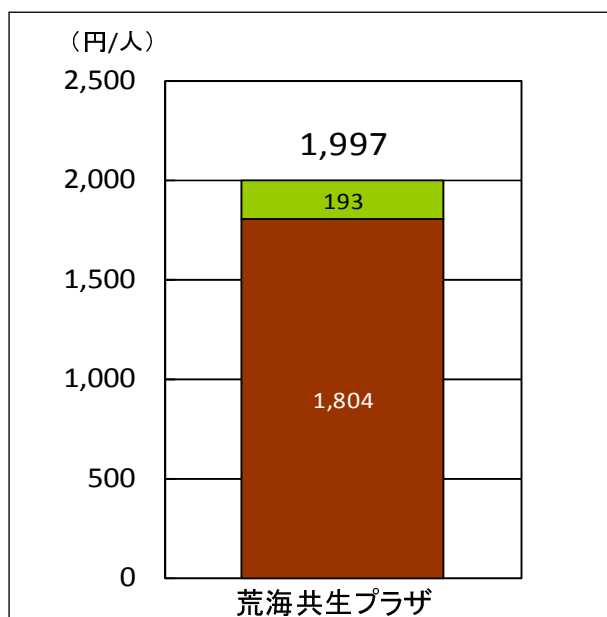
3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりのコストおよび単位床面積当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、荒海共生プラザは1,997円/人となっています。

延床面積とトータルコストから、単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、荒海共生プラザは、7万4,704円/㎡となっています。

図表 利用者1人当たりのコスト



図表 単位床面積当たりのコスト

